

オーラルフィジシャン育成セミナー

セミナー感想

北村 雅井先生はくり返される「歯科治療」に対して、矯正医として違う角度から MTM に対して正直に疑問を投げかけてくれたと感じた。

- ① MTM を取り入れることで、患者に真の行動変容を起させて長期に通っていくのが、
- ② 資料の規格性や資料項目をこなすことが目的になってしまい、個人の考え方や判断力、考察力が失われるのでは。

この疑問は、程度の差こそあれ導入前後に Dr. や DH が「必ず感じる」とはならないだろう。患者側も、今まで困ったことがない（元々口腔の健康状態がよい）と検査の必要性を感じてもらえない。そういう点では、北村先生自身が「歯科疾患で困ったことがなく、ホームケアのスキルも高いのもしれない。

北村先生は「MTMのための検査」と「メンテナンス」は「^歯疾患のリスク評価」と「健康管理」^{はあり}と思っている。北村先生が疑問を感じている根底に「診断ツールとしてのダイキ検査・OHIS」と捉えてしまっているのではないだろうか。どう見ても「BW は必ず撮るが」「患者さんのデータで統一されているのであれば100%の検査でもよいのでは」と疑問が湧いてしまう。エンドでも「再治療ならCBCTをルーティンに撮るべき」「Sx か Retx の判断に迷う時に撮るべき」という話になってしまう。しかし「MTMのための検査」は時間軸で比較して活かせる。

人の価値観・健康観はそれぞれで、みんながみんな MTM の流れを受けてメンテナンスに継続して参っていくわけではない。しかし、リスクを評価し、伝え、健康管理につながるツールとしてダイキ検査や OHIS、写真とデンタルは現時点で不可欠な検査方法だ”と 思っている。目の前

の患者さん（縦軸目線）でなく、医療全体、あるいは医療全体で情報共有ができるためにも一定レベルの規格化や質が望ましい。北村先生には矯正の患者さんから資料提供をしてこの用紙はセミナー終了時に提出してください「歯列びを整える」以上の価値ある

医療を行っていた方がいいし、MTMに

取り組んでもらいたい 日吉歯科診療所
と 思 っ た

オーラルフィジシャン育成セミナー

セミナー感想

今回の自分の15年間を反省し、今後自分に向かって
方向性を定めること加え、とても重要なセミナー
だった。10年後 20年後、オーラルフィジシャンとしての
道筋を歩き続けていけるように思っています。
よりかえりこんでいれた。

この用紙はセミナー終了時に提出してください

日吉歯科診療所

オーラルフィジシャン育成セミナー

セミナー感想

私がこのセミナーを受けるき、かけとなったのは、TV番組で熊谷先生の取り組みや考え方を観て非常に感銘を受けたことです。次の日にすぐにHPから、セミナー受講の申し込みをさせて頂きました。酒田へ来て日吉歯科と見学させて頂き熊谷先生の講義を受け、より深く、先々の考えや、やり方を理解する事ができました。それを院内でスタッフに伝え、~~私も~~同じ考えでMTMを実行することは難しかったです。やはり、実際にやってみて、わかることの方が多く、問題点もわかり、それをどうやって解決するかというのが今後の課題であるので、スタッフとしっかり話し合い、良い方向へもっていけるよう頑張っていきたいと思っております。

オーラルフィジシャンとしてやっていけるよう皆で努力していこうと思っております。

この用紙はセミナー終了時に提出してください

オーラルフィジシャン育成セミナー

セミナー感想

今回で最終回となりましたが、ケースの提出において、
患者資料まとめや、医院の統計を取る事により、色々と学ぶ事が多かった。
特にケース提出において、初診時から再評価時の口腔内環境の
変化が視覚化出来る事で、歯科医師、衛生士の双方の成長を
確認出来る事が出来ると同時に、患者利益に為る良質な歯科医療を
提供出来る事を認識できた。
今後も継続して、院長、自分も含めてスタッフも努力を
継続していくつもりです。
半年間、ご指導の程 ありがとうございます。

2016. 11. 20 (日)

この用紙はセミナー終了時に提出してください

日吉歯科診療所

オーラルフィジシャン育成セミナー

すみません！前回未提出でした！（6月）

セミナー感想

自分は矯正医ですので、矯正医として院長と共通認識の元で連携して行きたいと考え、今回院長と一緒に参加させて頂きました。

自費の予防（メンテナンス）とはどのようなものなのか？ GP、衛生士、専門医はどのような連携を取っているか？ 特に自分は矯正医ですので、小児歯科と矯正との関わり方に入りたい関心を持っている所を、実習担当のDr村岡さんや幡野先生に詳しく丁寧に様々な疑問、質問にお答え頂き、大変勉強になりました。

今回学ばせて頂いた事を院長と良く相談し、明日からの臨床に活かして行きたいと思っております。

熊谷先生はじめスタッフの皆様方、2日間本当にありがとうございました。

この用紙はセミナー終了時に提出してください

日吉歯科診療所

オーラルフィジシャン育成セミナー

セミナー感想

大学矯正科医局員時代は、矯正治療は診査・診断・治療計画の立案が治療成功の8割を占めると教わり、資料取りには自分なりに命を懸けておりました。しかし、周りの医局員はじめ、矯正医の中にはあれこれ理由(言い訳)をつけて、資料取りをおろそかにしているDr.が多数おられるのが現状です。自費の、しかもフルフラスの治療を担当する矯正医すら、規格性のある正確な資料なくして、診査・診断・治療計画の立案が出来るはずもなく、これは歯科・医科問わず、医療行為には共通のことと認識しております。そんないわばあたりまえのことをあたりまえの形でルーティンに全caseで長きにわたって。(しかもたが、現像の時代から!) 継続されてる態谷先生には改めて頭が下がる思いです。ブレない。私もブレたくないです。

院長の園田氏は資料取りの重要性はじめ価値観の共有を出来ており、それをDH、スタッフともしっかりと共有し、よい医院づくりを貢献し、それが^医院の地域貢献につながるべく強く心に誓いました。

この用紙はセミナー終了時に提出してください

日吉歯科診療所

オーラルフィジシャン育成セミナー

セミナー感想

今回、他院、先輩の悩みや問題点が自院と同じ事もあり
とても勉強になりました。

ITMの考え方、方法はとてもすばらしく、今まで自分、臨床
でモヤモヤしていた部分がいま、きり切れました。

この方法、考え方をとてもためるために各スタッフ、クラブ、等々
でも先輩の指導を信じてもらえればと思います。

これから続けていくつもりで、しっかりと取り組んでいきます。

ありがとうございました。

この用紙はセミナー終了時に提出してください

日吉歯科診療所

セミナー感想

Improving $Y_{\text{min}}^{\text{min}}$

日吉歯科診療所

オーラルフィジシャン育成セミナー

セミナー感想

他院の取り組みを見て、勉強になりました。
また、熊谷先生、太田先生、佐藤先生からも沢山のアドバイスを
頂き、疑問点の全てを解決して頂きました。一部、道筋が
見えた部分もあったため、非常に勉強になりました。
医療者の役割は、“疾病をなくす”ことで、治療することとは
その一部分であると考えています。その目標を達成する
ことは困難ではありますが、一歩ずつ歩を進めて
いこうと思います。ありがとうございました。

この用紙はセミナー終了時に提出してください

日吉歯科診療所